

空気調和・衛生工学会

第36回振興賞技術振興 賞受賞者の表彰式行う

空気調和・衛生工学会近畿支部

近畿支部は5月20日、オンラインで第36回振興賞技術振興賞受賞者の表彰式を行った。

近畿支部第6区では3件受賞。「読売テレビ新社屋の環境・設備計画」で設計・施工・開発・検証を担当した竹中工務店、施工の大成建設とジョンソンコントロールズ、検証の近本智行氏が受賞。

「SINKO AIR DESIGN STUDIOの空気調和設備」では、計画を担当した新

晃工業、計画・設計・施工・検証の竹中工務店、

施工の三建設備工業、計画・検証の近本智行氏が受賞した。

「近畿産業信用組合本店」都市部における高層事務所ビルのZEBの実現」では、設計・監理・施工・検証を担当した大成建設、管理運用の大成有楽不動産が受賞した。

また、2021年度の近畿支部学術研究発表委員会

の奨励賞の表彰式も行った。5者の受賞者のうち、「BIMと連携した配管性能検査手法の開発と報

告」で竹中工務店の五十嵐賢氏が受賞した。働き方改革による労働時間の短縮と人員不足という空調業界の課題に対して、BIMと自動測定

システムを連携させた配管圧力試験システムを開発。大きな効率改善が実現されていることが高く評価された。